



公開授業 響き合う神話の音
ハーンがつなぐギリシャと出雲



KAORU SHIMIZU

清水かおる

メゾソプラノコンサート

Mezzo-Soprano CONCERT

2011.7.1(FRI)

10:40~12:10

島根県立大学短期大学部 大講義室

Program:

「小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)がとらえた出雲神話とギリシャ神話」をテーマに、八雲が生涯深い思いを寄せたギリシャと出雲の文化的響き合いを小泉凡教授が語ります。

また、ギリシャ在住のメゾソプラノ歌手清水かおるさんに、『古事記』の黄泉平比坂の物語と類似したギリシャ神話「オルフェウスとエウリュディケ」をテーマとする歌曲やギリシャ歌謡を歌っていただきます。

(曲目) グルック作曲:歌劇「パリーデとエレナ」より「おお、いとしい恋人よ」 歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」より「エウリディーチェを失って」 ラベレ作曲:花冠 カミリエリ作曲:クセヌーラ マノス・ハジダキス作曲:月へ散歩に出かけよう ミクス・テオドラキス作曲:人知れぬ浜辺 その他

コンサート後は、ギリシャのカモミールやファスコミロのハーブティーをお楽しみください。

参加費 無料

主催 島根県立大学短期大学部

問合せ 島根県松江市浜乃木 7-24-2 島根県立大学短期大学部松江キャンパス 0852-26-5525(代表)



清水 かおる

メゾソプラノ

Kaoru Shimizu mezzo-soprano

東京生まれ 1998年よりギリシャ在住。
アテネギリシャ アポロ音楽院に於いて、'60-'70年代を代表するギリシャ人バリトン歌手コスタス・パスカリスに師事、同氏よりマスタークラス終了。
パリフランスにて、フランス国立高等音楽院 (CNSM) 前教師アンナ-マリア・ミランダに師事。
アテネに帰国後、コリダロス音楽院に於いてアメリカを中心に活躍したギリシャ人ソプラノ、イーニ・ツィラキドウに師事、同学院を首席で卒業。
在学中アテネメガロン・コンサートホールで公演されたモーツァルトのオペラ『魔笛』にコーラス

で出演、その後アテネに於いてリサイタル、ギリシャー日本の架け橋になりチャリティーディナーや祝典などで演奏、イタリア、フランスオペラアリア、ドイツリート、日本歌曲、ギリシャ愛唱歌を歌うなどレパートリーは幅広い。また在学中、及川クラシック主催のオーディションにて優秀新人賞受賞。2010年ギリシャレフカダ島での劇公演「ラフカディオ・ハーン」の絵で、小泉セツを演じる。今年在アテネ国立歌劇場 (Greek National Opera) に於いて開催されたE. ヴェニゼロス没後75年記念式典に出演、唯一の日本人としてオペラアリアを歌い、好評を得る。

児玉 ゆかり

ピアノ

Yukari Kodama piano

都立藝術高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。宗施月子、伊達純、松浦豊明、北村陽子各氏に師事。現在は声楽、器楽、合唱の伴奏を中心に活動している。また、オペレッタやヨーデルの伴奏、アレンジも手掛けている。

小泉 凡

島根県立大学短期大学部教授

Bon Koizumi

1961年東京生まれ。成城大学大学院で民俗学を専攻。1987年に松江赴任。地域文化の資源的活用についての実践研究、また松江市主催「子ども塾」の塾長として子どもたちの五感を育む活動に取り組んでいる。島根県立大学短期大学部教授、小泉八雲記念館顧問。小泉八雲の直系のひ孫にあたる。主著『民俗学者・小泉八雲』『八雲の五十四年』（共著）ほか。